

2024年3月7日

各地域・都府県テニス協会  
理事長 様  
ジュニアご担当者 様

公益財団法人 日本テニス協会  
専務理事 土橋 登志  
大会事業本部長 坂井 利彰



ジュニア JPIN 運用経費の外税化 および  
全日本ジュニアテニス選手権におけるノーレット、ダブルスのノード採用、  
U-10 グリーンボール種目、ジュニア車いすテニス種目の追加のお知らせ

拝啓

早春の候 益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より本協会事業に対しまして、種々のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび本協会では常務理事会において、令和6年度からのジュニア JPIN 運用経費の外税化を決議、全日本ジュニアテニス選手権の2024年大会からの（地域、都府県大会は2025年大会からの採用を予定）ノーレットルール、ダブルス種目におけるノード方式の採用、U-10 グリーンボール種目（シングルスのみ）、ジュニア車いすテニス種目の追加を決定しました。

詳細は下記の通りとなります。何卒ご理解賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

敬具

記

①JPIN 運用経費の外税化

目的：本協会の危機的な財政状況の改善

内容：1エントリーあたりのジュニア JPIN 運用経費を、2024年4月1日より、従来の200円から220円に変更

②全日本ジュニアテニス選手権の2024年大会からのノーレットルール、ダブルス種目におけるノード方式の採用

目的：ITFジュニア大会で採用されていることからグローバル化、暑熱対策の一環としての試合時間の短縮化

③全日本ジュニアテニス選手権の2024年大会からのU-10 グリーンボール種目（シングルスのみ）の追加

目的：テニピンの普及が加速することを想定すると、グリーンボール大会の整備が急務。富士山プロジェクトにおけるパスウェイを整えるうえで、非常に重要な位置づけとなる

④全日本ジュニアテニス選手権の2024年大会からのジュニア車いすテニス種目の追加

目的：ジュニア期から多様性を重んじ、テニスと車いすテニスの共創を目指す

以上